

ヘッドエンド装置内蔵用
レベル調整器

品番 **HE-LS-1**
取扱説明書

DXアンテナ株式会社

このたびはDXアンテナ製品をお買上げいただきまことにありがとうございます。

この装置を正しくご使用いただくために取扱説明書をよくお読みください。

●機器概要

このレベル調整器は、ヘッドエンド装置に内蔵され再送信入信号のレベルをそろえ、隣接チャンネル伝送時における音声信号レベルの調整を行なうことを目的としたレベル調整器です。

●特長

1. 入力側にLCフィルタ、出力側にヘリカルフィルタの採用により、帯域外減衰量が大きく、相互干渉も大幅に押え調整が簡単。
2. レベルコントロール部にPINダイオードを使用し、レベル調整が容易で、しかも安定。
3. 再送信は最大8局、隣接伝送用音声搬送波レベル調整は最大3局まで収容可能です。
4. ラックパネルはBTS規格。

●規格特性

レベル調整器

項 目〔単 位〕	仕 様	備 考
周 波 数 帯 域〔MHz〕	76～770の指定8波(隣接3波まで)	
通 過 帯 域 損 失〔dB〕	VHF8以下、UHF10以下	
レ ベ ル 調 整 範 囲〔dB〕	0～－10以上	
阻 止 帯 域 減 衰 量〔dB〕	VHF25以上、UHF20以上	
入 出 力 V S W R	2.5以下	
入出力インピーダンス〔Ω〕	75	F形座
電 源 電 圧〔V〕	AC100	50/60Hz
消 費 電 力〔W〕	6.4(VHF8波、ノッチフィルタ3波内蔵時)	
使 用 温 度 範 囲〔℃〕	－10～＋40	
外 形 寸 法〔mm〕	480(W)×99(H)×340(D)	BTS
重 量〔kg〕	8.6(VHF8波、ノッチフィルタ3波内蔵時)	

ノッチフィルタ

項 目〔単 位〕	仕 様	備 考
使 用 周 波 数〔MHz〕	90～222	
挿 入 損 失〔dB〕	2以下	
音声レベル調整範囲〔dB〕	－10～－20	

※ノッチフィルタを内蔵したチャンネルの挿入損失は約2dB増加します。

① 電源スイッチ

このスイッチの操作により、レベル調整器の動作を“ON”“OFF”とすることができます。

② ヒューズ(1A)

規定容量のヒューズを使用してください。規定値以外のものを使用すると、故障の原因となることがあります。

③ パイロットランプ

電源スイッチ①“ON”で点灯し、レベル調整器の動作状態を示します。

④ VHF入力端子(75Ω F 形)

⑤ UHF入力端子(75Ω F 形)

⑥ 出力端子(75Ω F 形)

入力された信号が、レベル調整された後、この端子より出力されます。

⑦ アウトレットコンセント

電源スイッチに関係なく、他のユニットへの電源供給用として使用できます。

⑧ レベル調整ボリューム

表示されたチャンネルの出力信号レベルを可変するボリュームです。

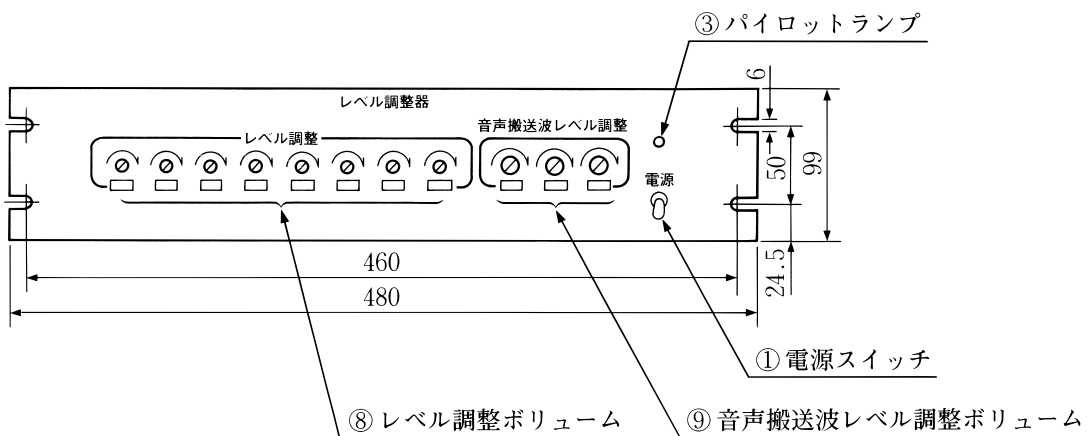
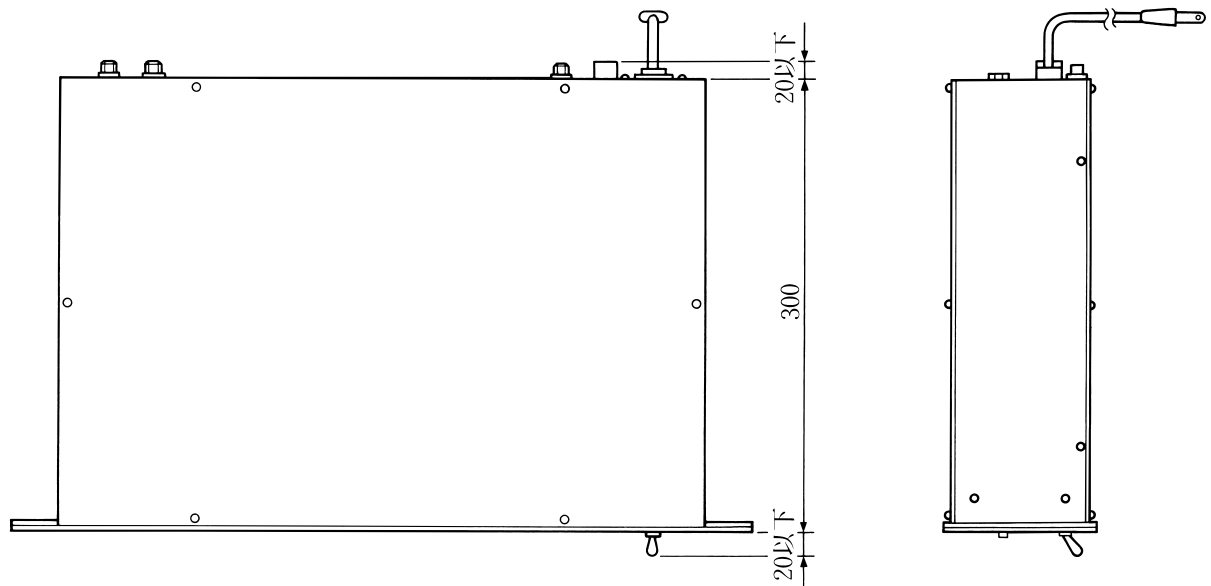
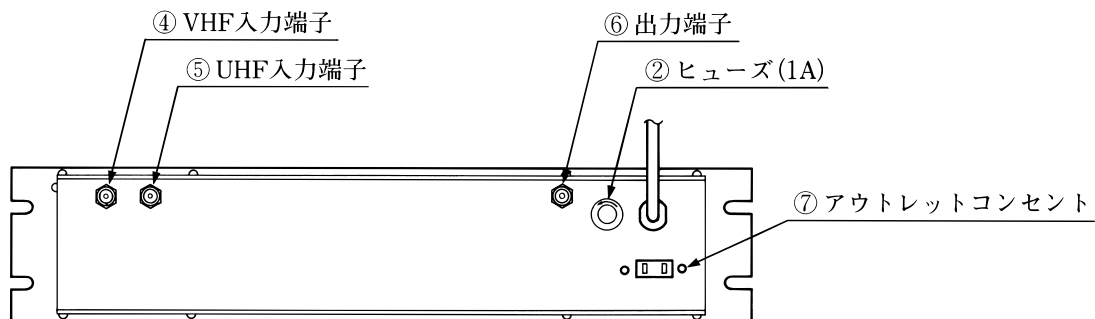
右側(時計方向)いっぱいまで、出力レベルは最大となります。

各チャンネルのレベル調整ボリュームを回して、出力レベルを合せてください。

⑨ 音声搬送波レベル調整ボリューム

隣接チャンネル伝送を行なう場合の音声信号レベルを調整するボリュームです。調整方法については、別紙(ヘッドエンド装置隣接チャンネル伝送音声信号レベル調整方法)をよく読んで調整してください。

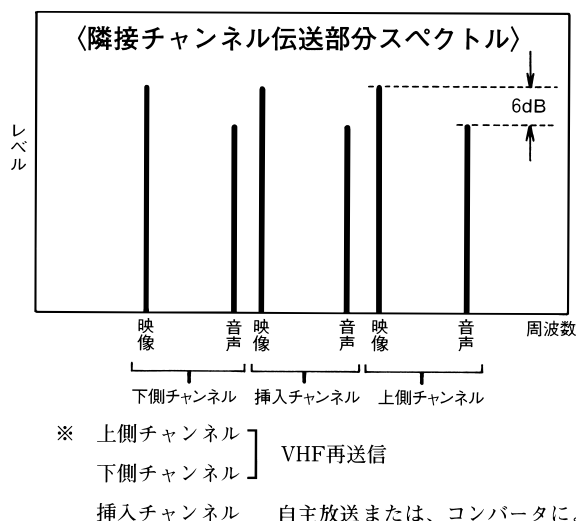
●操作説明



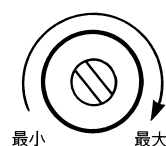
●ヘッドエンド装置隣接チャンネル伝送音声信号レベル調整方法

レベル調整にあたっては次の点に注意して下記の順序で調整してください。

- 音声搬送波レベル調整ボリュームは注意深く回して調整してください。
- 出力レベルをそろえてください。
- 調整は映像を見ながら行なってください。



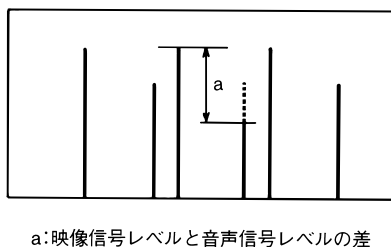
音声搬送波レベル調整



- 矢印の方向(時計方向)に回しますと音声信号レベルが最大になります。

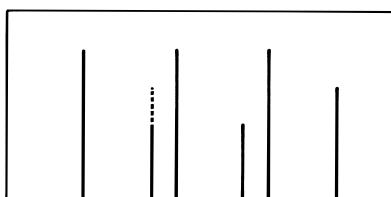
(1)すべての音声搬送波レベル調整ボリュームを最大にしてください。

(2)挿入チャンネルの音声信号レベルを次のように調整します。



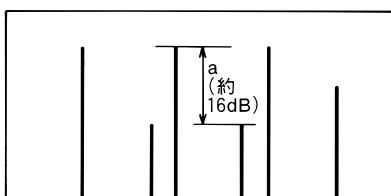
- 上側のチャンネルにテレビをセットし、画面のビートが消えるまでボリュームを最小の方向に回して調整します。
- テレビを挿入チャンネルにあわせ、バズ音(映像信号レベルと音声信号レベルの差が20dB以上になった場合に生ずる“ブーン”という音)の有無を確認しバズ音がある場合は、バズ音がなくなるようボリュームを最大の方向へゆっくりと戻して調整する。
- テレビを上側のチャンネルに戻してビートの有無を確認し、ある場合は、再調整を行なう。

(3)下側チャンネルの音声信号レベルを次のように調整します。



- 挿入チャンネルにテレビをセットし、画面のビートが消えるまでボリュームを最小方向に回して調整します。
- テレビを下側のチャンネルにあわせ、バズ音の有無を確認し、バズ音がある場合は、バズ音がなくなるようボリュームを最大の方向へゆっくりと戻して調整する。
- テレビを上側のチャンネルに戻してビートの有無を確認し、ある場合は、再調整を行なう。

(4)次のような状態で調整は終了です。



- 挿入チャンネルと上側のチャンネルでビートが確認できない。
- 挿入チャンネルと下側のチャンネルでバズ音が出ない。

(注) ● 調整終了時の映像信号レベルと音声信号レベルの差は約16dBとなります。

- 上のスペクトル図は標準的なレベルを表わしており、実際のレベルは地域・システム等により異なります。